

第3節

豊かな市民生活と元気な地域を支える

「仕事づくり」

□就労促進・起業支援

□農林畜産業等

□商工業

□観光

□定住・交流

(1) 就労促進・起業支援 ～子育ても仕事もあきらめないまち～

ア 女性の就労の促進

イ 若者・高齢者などの就労の促進

施策の概要

女性活躍推進プラットフォーム「アシスタ lab.（ラボ）」において、女性の就業・起業を支援する各種セミナーや個別相談、会員の起業に向けた事業試行のためのトライアル支援事業を実施し、女性が自らの意志により望む働き方を選択できるように、就業に向けた機運醸成や起業支援を行いました。

本市では女性起業家を「みよしアントレーヌ」として認定し、市広報紙や市ホームページで周知を図るなどの支援を行いました。

また、若者・高齢者などの起業を促進するため、補助金を交付し支援を行いました。

施策の成果

「アシスタ lab.」では、女性のチャレンジ意欲向上を目的としたセミナーや交流に取り組み、継続した支援を行いました。

また、14人を新たに「みよしアントレーヌ」として認定し（累計94人）、市広報紙や市ホームページに掲載するほか、女性起業家の活躍の場を地域に広げる取組として「みよしアントレーヌ出張教室」の冊子に新しいメニューを追加し、各住民自治組織へ配布するなど広く周知を図りました。

「アシスタ lab.」や起業支援事業などにより、市内で就業・起業するための環境整備につながっています。

事務事業の実施状況

■ 女性活躍推進プラットフォーム事業（地域共創部）

＜女性の就業・起業支援事業＞

女性が、それぞれのライフステージにあわせ、柔軟で多様な働き方を選択できるよう、起業セミナーや就職セミナーを実施するとともに、個別相談やトライアルをサポートするなど、就業・起業の支援を行い、「みよしアントレーヌ」として14人を認定しました（累計94人）。セミナーを9回、「先輩起業家トーク」などの交流会を4回開催しました。また、会員のマルシェ出店のスキルアップ及び会員同士の交流促進を図るため、イベントを4回開催し、569人の方が来場しました。

各会員の状況を把握し、起業に関する個別相談を21日開催し、延50人の支援を行いました。

効率的な売り上げアップに繋がるマーケティングセミナーのほか、インターネットでの集客を目的とした内容や、税理士などによる専門的で幅広いセミナーを開催し、起業後の継続した支援を実施しました。

令和5年度から利用促進として、月2回程度「もくもく会（同じ空間に集まって各自が"もくもく"と自分の作業を進める会のこと）」を開催し、起業準備や制作活動などを行いながら、利用者同士が集える場の創出・支援を実施しました。24回開催し、延67人の利用がありました。



起業セミナー



専門家による個別相談

■ 起業支援事業（産業振興部）

活力ある社会創生による産業の活性化を図るため、新たに市内で起業する新規起業者に対し、起業に必要な経費の一部を助成しました。

■ 新規開業支援事業（産業振興部）

早期に経営安定実現を図るとともに、起業の促進による産業界の活力向上を図るため、新規出店、新規開業時に行う広告宣伝経費の一部を助成しました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
女性の就業・起業支援事業	10,394	国県支出金 2,500	7,894	アシスタ lab.会員数 510 人 アシスタ lab.利用者延 2,430 人 みよしアントレーヌ 14 人 (累計 94 人)
【みよし産業応援事業】 起業支援事業	6,164		6,164	7 件
【みよし産業応援事業】 新規開業支援事業	488		488	5 件
計	17,046	2,500	14,546	

(2) 農林畜産業等 ～農業にふれたくなるまち～

ア 農林畜産業等の企業的经营の推進

イ 楽しく農畜産業等ができるまちづくり

施策の概要

農業経営基盤を強化し収益性の高い農林畜産業を推進するため、認定農業者などの育成、アスパラガスやほうれんそうなどの重点品目の新規植栽などを支援し、農産物の生産振興と経営安定を図ったほか、薬用作物の試験栽培契約に基づく生産・出荷・研究やスマート農業推進事業により、新しい農業の創出を図りました。

また、畜産経営支援のためのヘルパー利用や牛の購入経費の助成など、畜産経営の安定化を図りました。

施策の成果

重点品目（野菜3品目・果樹1品目・花き1品目）を中心に生産拡大に向けたハウス栽培などの支援を行った結果、ほうれんそう・ぶどうなどの作付面積が増加しました。

三次市薬用作物等栽培技術研究会において、薬品メーカーと試験栽培契約を締結している、ヒロハセネガ・カノコソウを重点品目として栽培に取り組みました。

三次市スマート農業推進協議会においては、ICTを活用したドローンによる可変施肥技術の実証など生産管理の省力化やアスパラガスの収量アップの取組など、経営の高度化に取り組みました。

また、畜産の経営規模の拡大支援や労働時間の短縮に向けた支援などの実施により、畜産の経営基盤の安定につなげました。

事務事業の実施状況

■ 農畜産物の生産力強化事業（農産物）（産業振興部）

＜振興作物産地化推進支援事業＞

重点品目の産地化を進めるため、アスパラガス・ほうれんそうの作付面積の拡大、機械購入などにかかる経費を支援しました。

＜果樹・花き生産振興支援事業＞

ぶどう・菊の生産振興のため、新規植栽や規模拡大に必要な、ほ場の整備などにかかる経費を支援しました。

＜麦・大豆等生産振興推進事業＞

加工品原材料の安定供給を図るため、麦・大豆・小豆・山の芋及びカーターピーナッツの栽培の拡大を支援しました。

＜地産地消応援事業＞

三次産の野菜、果樹又は花きの市内直売所などにおける販売促進や市内学校給食への提供のため、かん水施設設備やビニールハウス、機械の導入にかかる経費を支援しました。

■ 薬用作物等栽培促進事業（産業振興部）

生薬・漢方製剤などの原料の販売を行っている日本粉末薬品株式会社との試験栽培契約に基づき、ヒロハセネガ・カノコソウを重点品目として栽培に取り組みました。また、これら2品目の収量拡大に向け、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所及び学校法人東京農業大学と本市の気候・風土に合った栽培技術の共同研究を進めました。

登録農薬のないヒロハセネガについて、除草作業の省力化に向けて、登録申請に要する薬害検討試験を実施し、令和6年度中に認可される見込みとなりました。

新規栽培者募集研修会を開催したところ、新たに4戸の試験栽培者が加わりました。

■ スマート農業推進事業（農業）（産業振興部）

ICT を活用した農業の推進を目的として、アスパラガス環境制御ハウス導入事業に対する支援、果樹園地での自動ロボット草刈機による省力化、農業版 i CD（農業版 i コンピテンシ ディクショナリ：農業に関する業務と必要な能力を体系化し、習熟度の評価を行うことで、経験則に頼らない、効率的な人材育成を図るシステム）を活用した生産者育成支援プラットフォームシステムの本格運用を開始しました。

■ （仮称）みよしアグリパーク整備事業（産業振興部）

三次産ワイン醸造用ぶどうの生産力強化を図るため、株式会社広島三次ワイナリーの新たなぶどう園地の整備にかかるぶどう棚の設置工事などを行いました。

トレッタみよし周辺エリアの整備については、事業用地の取得を進めるとともに、広島県内外の民間事業者等から参画意向や条件整理に向けた意見などの聞き取りを行いました。

■ 農畜産物の生産力強化事業（畜産）（産業振興部）

和牛経営規模拡大をめざす畜産農家に対し、飼養管理の省力化と自給飼料の生産確保による低コスト化を図るため、水田放牧牛の導入や ICT の活用などの条件整備にかかる経費を支援するとともに、優秀な繁殖雌牛の保留を推進するため、保留対象雌牛の遺伝子及び染色体を分析することでその雌牛の遺伝的な能力を推定する「ゲノム育種価検査」に要する経費を支援しました。

また、三次産まれ、三次育ちの「みよし和牛」のブランド化を目的として、和牛肥育農家に対し、三次産素牛の購入にかかる経費を支援するとともに、関係機関と連携して市内小売店での「みよし和牛」の販売を行いました。

酪農家に対し、年中無休状態の解消として、定期的又は臨時的に利用するヘルパーに要する経費の助成を行いました。また、酪農経営規模の拡大と経営の安定化に向け、乳用牛の導入又は更新などにかかる経費を支援しました。

■ 産地生産基盤パワーアップ事業（産業振興部）

ほうれんそうの産地化を進めるため、新規就農者2人の栽培施設の導入にかかる経費を支援しました。

また、えだまめの生産拡大をめざす団体の収穫機械の導入にかかる経費を支援しました。

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」



えだまめ収穫機
(産地生産基盤パワーアップ事業)



「みよし和牛」販売の取組
(農畜産物の生産力強化事業(畜産))



三次産カノコソウ



自動ロボット草刈機
(スマート農業推進事業(農業))

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
振興作物産地化推進支援事業	10,174	その他 10,174		アスパラガス 5 件 ほうれんそう 2 件 新規植栽面積 152.5a
果樹・花き生産振興支援事業	3,272	その他 3,272		ぶどう 1 件 新規植栽面積 86.2a
麦・大豆等生産振興推進事業	9,818	その他 9,818		対象作付面積 98ha (31 件)
地産地消応援事業	2,247	その他 2,247		アスパラガス 2 件 ぶどう 2 件 多品目 4 件
6次産品化支援事業	900	その他 900		機械導入 1 件
薬用作物等栽培促進事業	2,000		2,000	試験栽培者 17 件
スマート農業推進事業（農業）	4,275	その他 3,295	980	〔実証事業〕 ドローンによる可変施肥技術 (1ヶ所) 〔施設整備〕 アスパラガス環境制御ハウス 10.36a (2 件) 〔機械導入〕 自動ロボット草刈機 (1 件)
(仮称) みよしアグリパーク整備事業	9,493		9,493	事業参画意向調査 60 件
堆肥購入促進事業	3,806		3,806	水稲 44 件 2,635 t 野菜等 65 件 1,036 t WCS 用稲 4 件 135 t
畜産経営支援事業	4,556		4,556	水田放牧促進事業 5 頭 肉用牛ヘルパー利用助成 15 戸 肥育和牛導入支援事業 24 頭 ICT 活用 1 件
和牛改良増進事業	4,413		4,413	優秀繁殖雌牛保留 28 頭 優秀繁殖雌牛導入 3 頭 優秀受精卵移植 77 頭 ゲノム育種価検査 12 頭
酪農経営支援事業	9,046		9,046	酪農ヘルパー利用助成 10 戸 乳用牛導入・更新促進事業 導入事業 54 頭 検査事業 79 頭 保留事業 16 頭

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
産地生産基盤パワーアップ事業	23,550	国県支出金 23,550		ほうれんそう パイプハウス資材・被覆資材・灌水資材導入 30.66a 13棟(2件) えだまめ収穫機(1件)
農産物生産供給体制強化事業(広島県施設園芸エネルギー転換事業)	2,549	国県支出金 2,549		断熱材(1件) 薪ストーブ(1件) ウッドボイラー(1件)
計	90,099	55,805	34,294	

ウ 美しい風景を伝えるための農業

施策の概要

農村や森林のもつ環境保全機能を維持し、豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、地域や集落などの活動を支援しました。また、有害鳥獣による農作物被害の防止や農業基盤の整備に対する支援を行いました。

施策の成果

中山間地域等直接支払制度及び多面的機能支払制度により、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のための地域の共同活動や営農活動、農地などの保全活動を支援することにより、農業生産活動の向上が図られました。

手入れがされていない森林を整備することにより、森林のもつ公益的機能の維持が図られたほか、森林・林業の体験活動を通じて森づくりに対する理解を深めることができました。あわせて、森林環境譲与税を活用し、住宅などへ被害を及ぼす可能性のある危険木の伐採に対する支援など、安全・安心な生活につなげることができました。

また、有害鳥獣による農作物被害を防止するため、農業者や地域が防護柵などを設置する取組の支援により農作物被害の低減につなげるとともに、ICTを活用した集落ぐるみの捕獲活動に取り組むことで、駆除班任せであった鳥獣捕獲に対して地域住民自らが主体的に取り組む意識の醸成が図られました。さらに、地域のニーズに応じた農地・農業水利施設などの整備により、生産効率を高めるとともに、担い手への農地集積を促進しました。

事務事業の実施状況

■ 中山間地域等直接支払交付金事業（産業振興部）

農業生産条件の不利な中山間地域などにおいて、集落などを単位として、農用地を維持・管理していくための取り決め（協定）に基づき、農業生産活動などを行う場合に、面積に応じて補助金を交付しました。

■ 多面的機能支払交付金事業（産業振興部）

農業・農村の有する国土の保全や水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成などの多面的機能の維持・発揮を図るために地域の共同活動にかかる支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進しました。

■ 環境保全型農業直接支払交付金事業（産業振興部）

地球温暖化防止や生物多様性保全など、自然環境の保全に資する農作物の生産に一体的に取り組んだ農業者団体などを支援しました。

■ 農村環境保全事業（産業振興部）

中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度により交付金を受けていない地域における農業施設や農村部の住環境を守る活動に対し、地域の共同活動団体や個別の小規模農家に補助金を交付しました。

■ 地域計画策定の推進（産業振興部）

「人・農地プラン」が法制化されたことに伴い、令和6年度末までに、市内全域で、地域の農地利用の将来像を定める「地域計画」の策定を進めています。

説明会の開催やアンケートの実施、地域での話し合いの場への参画など、策定に向けた取組を推進しました。

また、農地中間管理機構を活用し、担い手へ105.6ヘクタールの農地が集積されました。

■ 有害鳥獣被害防止柵設置事業（産業振興部）

イノシシなどによる農作物被害を防止するため、生産者個人が設置する防護柵や地域又は集落で一体的に設置する防護柵の資材の支援を行いました。

■ 有害鳥獣駆除班活動支援事業（産業振興部）

駆除班による捕獲活動に対する支援や駆除班の担い手の育成に対する支援を行いました。

■ スマート農業推進事業（鳥獣）（産業振興部）

集落ぐるみで行う鳥獣被害防止のための捕獲活動について、ICTを活用した監視カメラを3地域で導入し、省力化及び効率化による集落での効果的な捕獲活動を推進しました。



スマート農業推進事業（鳥獣）

■ 森林環境保全直接支援事業（産業振興部）

森林の有する多面的機能を発揮させるため、間伐などの森林施業と一体となった森林作業道の開設などを実施しました。

■ 森林経営管理事業（産業振興部）

森林環境譲与税を活用し、3地区の森林所有者に対し所有森林の経営管理にかかる意向調査や保育間伐、巡視などを実施しました。また、公共施設への風倒木被害の未然防止を目的として、7ヶ所のアクセス道周辺の森林整備を行うとともに、住宅などへ被害を及ぼす可能性のある危険木の伐採に対する支援を行いました。

■ ひろしまの森づくり事業（産業振興部）

＜環境貢献林整備事業＞

15年以上手入れがされないまま放置された人工林について、間伐などの手入れを行うことで、森林が持つ公益的な機能を高める取組を支援しました。

＜里山林対策事業＞

手入れのされていない里山林の整備を行うとともに、森林、林業に対する理解を深める取組を支援しました。

＜特認事業＞

地域団体からの提案を受け、広島県の特認事業を活用して、遊歩道の整備や地域資源の保全及び森林整備を支援しました。

■ **小規模農業基盤整備事業（産業振興部）**

地域農業の振興を図るため、危険度が高く緊急度の高いため池の整備を、広島県単独の補助事業を活用して行いました。

■ **農地耕作条件改善事業（産業振興部）**

担い手への農地の集積・集約化を推進するため、農業水利施設や農作業道、農地造成などの整備を、国庫補助事業を活用して行いました。

■ **農業水路等長寿命化・防災減災事業（産業振興部）**

農業水利施設の長寿命化、水管理労力軽減や維持管理コスト低減化、施設の機能低下が生じている箇所機能回復を目的として、国庫補助事業を活用して施設整備を行いました。

■ **農村地域防災減災事業（ため池等整備事業）（県営）（産業振興部）**

耐震診断調査で、健全度が低いと判定されたため池（狩又池、大池、奥の谷池）の整備に対し、負担金を支出しました。

■ **備北南部地区広域営農団地農道整備事業（県営）（産業振興部）**

備北南部2期地区の工事・測量設計・移転補償などの事業に対し、負担金を支出しました。

■ **農地中間機構関連農地整備事業（県営）（産業振興部）**

小文地区及び宇賀地区ほ場整備にかかる測量設計や工事、大力谷地区ほ場整備にかかる事前調査に対し、負担金を支出しました。

■ **林道整備事業（産業振興部）**

国庫補助事業を活用して、林業専用道山家線の開設を行いました。

■ **幹線林道比和・新庄線整備事業（県営）（産業振興部）**

「君田・布野区間」の君田町茂田～櫃田工区、布野町上布野明谷工区の工事・測量設計に対し、負担金を支出しました。

■ **小規模崩壊地復旧事業（産業振興部）**

人家の裏山でがけ崩れや浸食などによって危険となっている箇所について、山留工・山腹工などの整備を広島県単独の補助事業により行いました。

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
中山間地域等直接 支払交付金事業	491,483	国県支出金 368,195	123,288	集落協定 224 件 475,844 個別協定 10 件 15,639 協定面積 3,378ha
多面的機能支払交 付金事業	179,153	国県支出金 137,080	42,073	農地維持 159 件 106,116 協定農地 3,590ha 資源向上（共同）154 件 62,428 協定農地 3,502ha 資源向上（長寿命化）6 件 10,609 協定農地 306ha
環境保全型農業直 接支払交付金事業	1,185	国県支出金 888	297	堆肥の施用 2 件 2,321 a 有機農業 1 件 136 a
農村環境保全事業	2,571		2,571	補助金 31 件
有害鳥獣被害防止 柵設置事業	12,043		12,043	個人 194 件 集落 29 件
有害鳥獣駆除班活 動支援事業	23,429		23,429	駆除頭数 2,202 頭 （内訳）イノシシ 1,409 頭 シカ 793 頭
狩猟免許（第一種 猟銃）取得支援事 業	50		50	1 人
イノシシ・ニホン シカ捕獲報奨金	5,450		5,450	狩猟期間捕獲頭数 2,180 頭 （内訳）イノシシ 872 頭 シカ 1,308 頭
スマート農業推進 事業（鳥獣）	2,461		2,461	3 集落
森林環境保全直接 支援事業	28,146	国県支出金 22,330 起債 5,200	616	間伐 16 地区 89.94ha 路網整備 3 地区 1,524m
森林経営管理事業	76,941	その他 42,586	34,355	・意向調査対象（3 地区） 筆数 628 筆 面積 178.60ha ・経営管理権集積計画策定面積 21.59ha 保育間伐 13.31ha ・公共施設等森林整備 7 ヶ所 市道東入君 38 号線ほか 市道十日市 274 号線 県道糸井・塩町線 市道栗屋 63 号線 市道松線 主要地方道甲山甲奴上市線 県道青河江田川之内線 合計 1,500m ・危険木伐採事業 55 件

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
ひろしまの森づくり事業（環境貢献林整備事業）	39,735	国県支出金 39,735		人工林整備 61 地区 72.51ha 被害木処理 6 地区 0.49 ha
ひろしまの森づくり事業（里山林対策事業）	32,242	国県支出金 32,242		里山林整備 10 地区 10.14ha 体験学習活動 6 団体 331 人参加 里山保全活用 8 団体
ひろしまの森づくり事業（特認事業）	11,200	国県支出金 11,200		遊歩道整備（300m）・石垣修繕（50m）ほか 森林整備（除・間伐 2.3ha, 危険木伐採）
小規模農業基盤整備事業（ため池緊急整備・老朽ため池補強） 《下段：繰越明許分》	5,979	国県支出金 3,396 起債 800 その他 984	799	ため池緊急整備 工事 4 件 5,088 測量設計 3 件 891
	22,806	国県支出金 11,530 起債 5,400 その他 5,701	175	ため池緊急整備 工事 3 件 17,267 老朽ため池補強 工事 1 件 5,539
農地耕作条件改善事業 《下段：繰越明許分》	96,736	国県支出金 61,871 その他 14,255	20,610	酒屋第 2 団地地区 ぶどう園地整備 40,085 設計 385 三次第 4 地区 下井田工区農道整備 8,865 上井田工区水路整備 10,865 仮屋迫工区水路整備 3,732 測量設計 3 件 1,908 三次南部地区 畑原工区農地整備 12,034 板屋工区農地整備 11,246 測量設計 4 件 3,263 神杉中央地区 測量設計 1 件 2,417 水ヶ迫地区 測量設計 1 件 1,936
	46,596	国県支出金 29,939 起債 6,600 その他 6,989	3,068	酒屋第 2 団地地区 ぶどう園地整備 11,000 三次第 4 地区 神之瀬工区水路工事 31,601 測量設計 2 件 3,995
農業水路等長寿命化・防災減災事業 《下段：繰越明許分》	75,148	国県支出金 54,532 その他 10,308	10,308	酒屋第 3 地区 パイプライン改修工事 67,400 三次市 1 期（廃止）地区 設計 1,628 工事 4,800 のそみが丘地区 設計 1,320
	25,000	国県支出金 17,500 起債 3,300 その他 3,750	450	酒屋第 3 地区 測量設計 24,200 パイプライン改修工事 800

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
農村地域防災減災事業（ため池等整備事業）（県営） 《下段：繰越明許分》	80		80	【県営事業負担金】 大池 79 負担割合：7% 事業費 1,134 奥の谷池 1 負担割合：7% 事業費 19
	15,361	起債 13,800	1,561	【県営事業負担金】 狩又池 1,897 負担割合：7% 事業費 27,106 大池 9,125 負担割合：7% 事業費 130,366 奥の谷池 4,339 負担割合：7% 事業費 61,987
備北南部地区広域営農団地農道整備事業（県営） 《下段：繰越明許分》	457	起債 400	57	【県営事業負担金】 備北南部2期地区 457 負担割合：10% 事業費 4,578
	8,300	起債 7,800	500	【県営事業負担金】 備北南部2期地区 8,300 負担割合：10% 事業費 83,000
農地中間機構関連農地整備事業（県営） 《下段：繰越明許分》	8,731		8,731	【県営事業負担金】 宇賀地区 297 負担割合：5% 事業費 5,944 大力谷地区（単県） 8,434 負担割合：50% 事業費 16,867
	9,334		9,334	【県営事業負担金】 小文地区 9,334 負担割合：5% 事業費 186,696
林道整備事業 《下段：繰越明許分》	8,157	国県支出金 4,719 起債 3,400	38	林業専用道山家線 林道開設工事 7,260 設計 897
	12,030	国県支出金 7,819 起債 4,200	11	林業専用道山家線 林道開設工事 12,030

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
幹線林道比和・新庄線整備事業 《中段：繰越明許分》 《下段：事故繰越分》	2,003	起債 1,900 その他 13	90	【県営事業負担金】 君田・布野区間 2,003 負担割合：5% 事業費 40,093
	1,660	起債 1,500 その他 11	149	【県営事業負担金】 君田・布野区間 1,660 負担割合：5% 事業費 33,217
	93	その他 1	92	【県営事業負担金】 君田・布野区間 93 負担割合：5% 事業費 1,845
小規模崩壊地復旧事業 《下段：繰越明許分》	27,692	国県支出金 10,011 起債 6,900 その他 6,923	3,858	事業費 27,692 工事 7 件 測量設計 13 件
	43,591	国県支出金 20,653 起債 14,800 その他 7,821	317	事業費 43,591 工事 9 件
計	1,315,843	1,008,982	306,861	

エ 農林畜産業等に携わる人材育成

施策の概要

自立した農業経営をめざす認定新規就農者の営農初期段階の投資などの負担軽減と早期の経営安定を図るため、施設や機械などの導入に対する支援を行いました。

また、農業従事者の高齢化や後継者不足などが進む中、地域農業の振興と経営発展を図るため、新たな農業の担い手として従業員を雇用する集落法人などに対する支援を行いました。

施策の成果

地域おこし協力隊などを活用し、令和6年度からの研修生3人の人材確保に努めました。

集落法人などでは、機械の共同利用など担い手の連携のしくみづくりに取り組みました。また、農業の担い手となる従業員は、6経営体で6人が雇用されました。

事務事業の実施状況

■ 【担い手育成・強化事業】（産業振興部）

広島県、JA、株式会社JAアグリ三次及び市が連携し、認定新規就農者の育成及び支援に取り組み、新たに3経営体を認定新規就農者として認定し、認定新規就農者は累計38経営体となりました。また、認定農業者では、新たに1経営体を認定しました。

<農業次世代人材投資事業>

次世代を担う農業者となることをめざし、独立、自営就農する認定新規就農者8人に対し、経営開始時に必要な資金を支援しました。

<認定新規就農者育成支援事業>

認定新規就農者の農業経営の早期安定化を図るため、栽培条件の整備や技術習得などの経費に対し、9件の支援を行いました。

<農地集積支援事業>

農業所得の向上と経営安定、効率化を図るため、賃貸借権の設定及び農地の利用集積により経営規模の拡大を行った法人を含む認定農業者を支援しました。

<集落法人等新規雇用事業>

新たな農業の担い手として、新規に従業員を雇用した集落法人などの雇用にかかる経費に対して支援を行いました。

<認定新規就農者リースハウス等整備支援事業>

早期経営の安定のため、認定新規就農者4人に対し、ハウスなどの施設にかかるリース事業に要する経費を支援しました。

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
農業次世代人材投資事業	12,333	国県支出金 12,333		対象者 8 人
新規就農者育成総合対策事業	10,500	国県支出金 10,500		対象者 7 人
認定新規就農者育成支援事業	22,430		22,430	申請件数 9 件
農地集積支援事業	6,890		6,890	集積面積 43.19ha 22 経営体 (内訳：18 法人, 4 個人)
集落法人等新規雇用事業	5,900		5,900	集落法人等雇用者 6 人 (新規雇用 2 人, 継続雇用 4 人)
農業研修者受入支援事業	200		200	受入農家 2 件
認定新規就農者リースハウス等整備支援事業	3,780		3,780	対象者 4 人 面積 161.2 a
計	62,033	22,833	39,200	

(3) 商工業 ～みんなが働くことができるまち～

ア 商工業の活性化

施策の概要

活気のある商工業の振興、生産性の向上及び事業の効率化を図るため、幅広い支援制度を設け、事業を推進しました。また、経済対策事業として、原油価格・物価高騰による影響を受けた中小事業者への各種支援を行いました。

施策の成果

プレミアム付商品券発行事業への支援や住宅リフォーム支援事業により新たな消費を喚起し、小規模事業者経営持続支援事業などにより中小企業の経営基盤の強化支援を行いました。そのほか、原油価格・物価高騰対策として各種補助事業により、経営の持続を支援しました。

事務事業の実施状況

■ 住宅リフォーム支援事業（産業振興部）

建築関連工事の促進により地域経済の活性化及び市民の住環境の向上を図るため、住宅リフォームに要する経費に対して補助を行いました。

■ 小規模事業者経営改善資金利子補給事業（産業振興部）

事業者の経営の安定と発展を図るため、日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金を利用した事業者に対して利子補給金を交付し、金利負担の軽減を行いました。

■ 産学官連携事業（産業振興部）

三次イノベーション会議の事業として、市内事業者から相談を受けていた産学官連携推進事業に1件の支援を行いました。

■ プレミアム付商品券発行事業（産業振興部）

地元消費の拡大及び地域経済の活性化を目的として、三次商工会議所及び三次広域商工会が実施する10%のプレミアムが付いた商品券発行事業（総額5億5,000万円；50,000冊）の支援を2回行いました。

■ 中小企業者金融支援事業（産業振興部）

令和2年度から継続して、コロナ対応資金として借入した運転資金にかかる3年目の利子補助を行いました。

■ 店舗連携創出支援事業（産業振興部）

コロナ禍において、店舗間の連携により販売促進や集客を図る取組を行う店舗や商店街団体などが実施する店舗連携事業に要する経費の一部について継続支援しました。

■（新）小規模事業者経営持続支援事業（産業振興部）

市内小規模事業者が生産性の向上や事業の効率化等を図り、経営力向上をめざす目的で導入する設備などの新設、増設に要する経費の一部について補助を行いました。

■（新）エネルギー価格等高騰対策小規模事業者支援事業（産業振興部）

物価、エネルギー価格の高騰の影響を受けている市内の小規模事業者などの負担を軽減し、事業の継続を図るために、個人事業者は5万円、法人は10万円の支援金を交付しました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
住宅リフォーム支援事業	9,547		9,547	住宅 102 件
小規模事業者経営改善資金利子補給事業	1,081		1,081	14 件
産学官連携事業	200		200	1 件
プレミアム付商品券発行事業 《下段：繰越明許分》	53,696	国県支出金 53,696		発行額 5 億 5,000 万円
	53,687	国県支出金 53,687		発行額 5 億 5,000 万円
中小企業者金融支援事業	20,758		20,758	96 件
店舗連携創出支援事業	517		517	8 件
小規模事業者経営持続支援事業	5,980		5,980	25 件
エネルギー価格等高騰対策小規模事業者支援事業	104,327	国県支出金 94,831 その他 9,433	63	1,446 件
計	249,793	211,647	38,146	

イ 雇用の確保と維持に向けた企業誘致と企業支援

施策の概要

安定的かつ継続的な雇用の場を確保し、経済の活性化を図るため、既存の産業用地（四拾貫・東酒屋・三良坂）への誘致に向けた活動や情報発信を行うとともに、誘致した企業の操業開始に向けて各種対応に取り組みました。

また、人材確保支援事業（みよし産業応援事業）や雇用労働対策協議会事業である「高校生キャリア育成事業」「三次市就職・就農・定住相談・面接会」及び企業ガイドブックのデジタル化を通じ、労働力の確保に取り組みました。

施策の成果

エネルギー価格等の高騰や人手不足等の厳しい経営環境を踏まえ、市内企業を重点的に訪問し、操業状況などについてヒアリングを行い、市が実施した経済対策事業の政策立案の参考にしました。

企業誘致においては、三良坂産業団地に立地が決定した株式会社シンセイ（本社：福島県）の操業開始に向けて地元説明会や環境整備など、各種対応を行いました。

オフィス系事業所の企業誘致として、広島県と連携し、首都圏の企業担当者を対象に視察ツアーを実施しました。

人材確保支援事業による補助（5件）を実施した結果、新たに3社8人の労働力確保に繋がりました。

事務事業の実施状況

■ 企業誘致推進事業（産業振興部）

（一財）日本立地センターと連携し、全国に産業用地の情報発信を行ったほか、各種セミナーに参加しました。

■ ワークेशनモニター事業（産業振興部）

デジタル系企業誘致視察ツアーを1泊2日で実施しました。現地視察した企業1社と協定を締結しました。

■ 工場等設置奨励事業（産業振興部）

工場等設置奨励金4件、雇用奨励金2件（計17人雇用）、土地取得奨励金1件、設備等取得奨励金1件、水道助成金1件の交付を行いました。

■ オフィスビジネス系事業所設置奨励事業（産業振興部）

情報サービス業3社の市内事業所開設を支援しました。

■ 雇用労働対策事業（産業振興部）

雇用労働対策協議会の活動として、みよし就活ネットでの企業紹介や企業ガイドブックの発行・配付を通じ、市内企業への就業と定住の促進及び企業のPRに取り組みました。

■ 新たな産業用地の取組（産業振興部）

三良坂産業団地においては、株式会社シンセイが操業を開始しました。

そのほか、四拾貫産業用地及び東酒屋産業用地について情報発信を行いました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
企業誘致推進事業	3,050		3,050	設備投資・立地意向 合同アンケート調査 発送数 12,000 社
ワーケーションモニター事業	267	国県支出金 133	134	デジタル系企業協定締結 1 件
工場等設置奨励事業	72,450	起債 49,800 国県支出金 8,500 その他 10,100	4,050	工場等設置奨励金 4 件 雇用奨励金（計 17 人雇用） 2 件 土地取得奨励金 1 件 設備等取得奨励金 1 件 水道助成金 1 件
オフィスビジネス系事業所設置奨励事業	7,082	国県支出金 3,000	4,082	オフィスビジネス系事業所設置 奨励金 3 件
【みよし産業応援事業】 人材確保支援事業	760		760	人材確保支援事業 5 件 （3 社 8 人の採用）
雇用労働対策事業	2,400		2,400	企業ガイドブックの発行・配付など
計	86,009	71,533	14,476	

ウ 活力あるお店づくりとにぎわいの創出

施策の概要

活力とにぎわいの溢れる商店街の再生や元気なお店づくりを進めるため、空店舗の解消や、特色あるイベントの開催支援など、ハードとソフトの両面から事業の推進に努めました。

施策の成果

みよし産業応援事業の中で中小企業者支援事業5事業と、商店街等支援事業及び三次ブランド販路拡大支援事業による補助（35件）を行い、商店街や商店などの事業展開の支援を行いました。

意欲ある商店や商店街の独自性のある取組の支援を通じて、活力あるお店づくりとにぎわいの創出を推進しました。

事務事業の実施状況

■ 【みよし産業応援事業】中小企業者等支援（産業振興部）

産業の活性化を図るため、空店舗出店支援事業や人材確保支援事業など、積極的に事業を展開する事業者への支援を行いました。

■ 【みよし産業応援事業】商店街等支援（産業振興部）

空店舗を減少させるなど商店街のにぎわいと活力あるお店づくりを進めるため、商店街等活性化支援事業により商店街への支援を行いました。

■ 【みよし産業応援事業】三次ブランド販路拡大支援事業（産業振興部）

三次製品の販路拡大・PRを目的とし、「ひろしまブランドショップTAU」において、「みよしブランド」に認定されている事業者が日替わりで自社商品のPR販売を行ったほか、本市の特産品のPR活動を行いました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
【みよし産業応援事業】 中小企業者等支援事業	6,825		6,825	空店舗出店支援事業 5件 人材確保支援事業 5件 チャレンジショップ運営支援事業 1件 クラウドファンディング活用支援事業 3件 店舗連携創出支援事業 8件
【みよし産業応援事業】 商店街等支援事業	418		418	商店街等活性化支援事業 5件
【みよし産業応援事業】 三次ブランド販路拡大 支援事業	959		959	出店 8事業所
計	8,202		8,202	

エ ものづくり・商売に携わる人材の育成と起業促進

施策の概要

産業界が必要とする人材の確保及び育成を行うため、職業訓練による人材の育成を進めました。

施策の成果

職業訓練委託事業により、従業員のスキルアップによる企業への支援と、資格の取得による新規就労の促進を図りました。

事務事業の実施状況

■ 職業訓練委託事業（産業振興部）

就職活動中の市民及び市内事業所の従業員を対象に、受講料無料で委託訓練事業を行い、求職者の就業機会の拡大と市内企業の従業員のスキルアップに努めました。スキルアップや資格取得受験準備など企業や求職者などのニーズに即した 31 講座を開設し、212 人の受講がありました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
職業訓練委託事業	9,995		9,995	講座数 31 講座, 受講者 212 人
計	9,995		9,995	

(4) 観光 ～人が集まり、にぎわいがあるまち～

ア 美しく懐かしい風景と伝統を活かした魅力の向上

施策の概要

三次地区の歴史、伝統及び文化に学び、継承する取組を通じて、郷土への誇りの醸成と交流による創造的な活動の活性化を図るため、美しい景観づくりに向けた三次町の歴史的な街なみ整備や三次地区拠点施設を核とした三次地区の文化・観光まちづくりの取組を進めました。

施策の成果

三次町の歴史的な街なみ整備の一環として、これまで整備した石畳舗装や電線の地中化に加え、家屋の修景整備を継続的に進めてきたことにより「趣」のある街なみ景観が形成されています。

また、平成31年4月26日に開館した、日本初の妖怪をテーマとした博物館「湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）」と「三次地区文化・観光まちづくり交流館」は、外部有識者などの意見もいただきながら指定管理による管理・運営を進めました。コロナ禍では規制を設けていたチームラボ妖怪遊園地の対応も従前の状況に戻すとともに、他館からの借入資料も活用した企画展を開催し、文化・観光まちづくりの更なる推進につなげました。

事務事業の実施状況

■ 三次町街なみ環境整備事業（建設部）

三次町の上市・太才通り、三次本通りの沿道地区（延長約1.4km）において、居住環境の向上と地域活性化を図るため、地域の憩いの場となる三次本通り広場の整備を行いました。

また、建築物などの修景に対する補助金の交付を行っており、令和5年度は家屋の修景補助の交付を2件行い、平成12年度からの補助件数は55件となりました。

三次もののけミュージアムを活用したにぎわい創出を図るため、三次町エリアの周遊性をさらに向上させる必要があります。市民が誇りに感じられる景観の形成に向け、今後も歴史的な街なみ整備を推進していきます。



三次町歴史的街なみ景観形成地区



三次地域交流館 木綿兎（もめんと）

■ 三次地区拠点施設運営事業（地域共創部）

四季ごとに常設展の展示替えを行うとともに、年間4回の企画展に取り組みました。また、秋の企画展「百鬼夜行へようこそ！絵巻からおもちゃまで」では福岡市博物館などの所蔵資料を借用展示しました。また、夏休み企画展「もののけ大冒険～妖怪と出あう夏休み～」及び秋の企画展では、図録を作成し関係機関への配布を行うなど学術資料として記録しました。そのほか、もののけトークやワークショップなどを開催しました。

また、令和6年度の開館5周年にむけた企画展や関連イベントの内容などについて協議し、準備を進めました。

湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）運営協議会を年2回開催し、当館の魅力向上のため、学術的・教育的な観点を中心に助言をいただきました。この助言を今後の運営に役立てていきます。



もののけツアー

「稲生物怪録」と三次の歴史さんぽ



夏休み企画展関連ワークショップ

「三次の烏天狗と一緒に！！もののけ提灯を作ろう」

■ 鵜飼伝統文化保存継承事業（産業振興部）

三次を代表する伝統文化である鵜飼を次代に伝えていくため、鵜匠や舵子の賃金、鵜の餌代、鵜匠による市内小学校の総合的な学習における講話及び全国鵜飼サミットへの参加などに対する補助を行いました。



市内小学校の総合的な学習での講話



鵜飼について説明を行う鵜匠

■ 神楽魅力アップ事業（産業振興部）

広島広域都市圏主催の神楽イベントなどについて、三次市観光振興神楽協議会（市内神楽団6団体加入）を通じて神楽団を派遣することで、神楽団の活動支援と本市のPRにつなげました。

神楽団体の出演機会の創出と神楽の文化に親しんでもらうため、湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）で開催された「もののけの日」に5つの神楽団が出演しました。

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」



第8回もののけの日への出演



湯本豪一記念日本妖怪博物館で
三次の神楽を楽しむ観光客

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
三次町街なみ環境整備事業 《下段：繰越明許分》	2,992	国県支出金 1,496	1,496	家屋の修景補助 2 件
	24,005	国県支出金 12,002 起債 11,400	603	三次本通り広場整備工事
三次地区拠点施設運営事業	59,025	その他 193	58,832	企画展年 4 回 出前講座 3 回 入館者数 42,956 人
鵜飼伝統文化保存継承事業	16,180		16,180	三次鵜飼伝統文化振興会へ補助
神楽魅力アップ事業	302	その他 302		三次市観光振興神楽協議会への補助
計	102,504	25,393	77,111	

イ 観光資源を活かした集客力の向上

施策の概要

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行したことから、経済活動は活発になり、観光の需要は大きく高まりました。訪日外国人観光客の滞在や消費は3大都市圏に集中する一方、今後は地方への分散が期待されることもあり、本市では、訪日外国人観光客を含めた観光客の受入体制の整備を進めました。全ての観光客が気軽にアクセスできる三次版無料 Wi-Fi の整備や多言語に対応した観光案内所の整備に取り組みしました。

また、みよし DMO と地域の事業者などと協働し、各地域で地域資源を発掘し、観光プロダクトの開発を通じた観光事業の創出を支援しました。

あわせて、広島広域都市圏協議会の活動として、広島・宮島・岩国地方観光連絡協議会での活動やユニークベニュー等利用促進協議会（ユニークベニューとは、歴史的な建物で会議やイベントを行うこと。）のモデル事業を視察するなど広域的な取組に参加しました。

施策の成果

観光客の滞在時間の延伸と宿泊客の増大を目標に掲げ、広島広域都市圏協議会の活動の中で、広島市を中心とした近隣圏域での誘客を進めました。令和5年の総観光客数は 214.6 万人になり、令和4年の総観光客数 192.1 万人と比較すると 22.5 万人の増加がみられました。

また、宿泊施設の開業や本市独自の宿泊促進施策により、令和5年の宿泊者数は 17.2 万人になり、令和4年の宿泊者数 15.5 万人から大きく増加しました。

宿泊者数の増加に伴い、令和5年の総観光消費額は 70.8 億円に上り、令和4年の総観光消費額 62.8 億円と比較して 12.7% 上昇しました。

また、みよし DMO により、地域の事業者と協働した体験型観光商品の開発支援を行い、集客力の向上とあわせて、今後の「稼ぐ力の創出」につなげました。

事務事業の実施状況

■ みよし DMO による観光商品の開発支援（産業振興部）

みよし DMO は、一般社団法人みよし SL 保存倶楽部や有限会社ハイツカ湖畔の森などと協働し、地域の観光資源を活用した体験型の観光商品の造成による観光事業を創出する活動を支援しました。



レールマウンテンバイク



カヤッククルージングツアー

■ 観光地域づくりを進める団体への事業補助（産業振興部）

地域にある観光資源を保全する活動や観光資源を活用した地域づくり活動などを推進するため、4つの地域団体に対して、事業実施にかかる補助を行いました。

■ 全市的イベントへの開催補助（産業振興部）

各種機関・団体などで構成する実行委員会などが実施・開催する全市的イベント・行事への補助を行いました。



第36回三次さくら祭



第45回三次きんさい祭

■ （新）三次版無料 Wi-Fi 整備促進事業（産業振興部）

インバウンド誘客等を目的として、訪日外国人旅行者を含めた全ての観光客が気軽にアクセスできる Wi-Fi の整備を進めることとし、市内にある飲食店や観光案内所などの観光客が利用するスポットに、モバイル回線を用いた小規模な無料 Wi-Fi スポットの整備を進めました。

令和5年度は、27台の機器設置を行いました。観光客のさらなる利便性向上のため、継続して拡大を図ることとし、令和6年度への繰越事業としました。



Wi-Fi の整備を促すチラシ



Miyoshi Free WiFi の利用スポット表示

■ 広島広域都市圏協議会の取組（産業振興部）

広島広域都市圏イベント情報紙「り〜ぶら」や広島・宮島・岩国地方観光連絡協議会の観光ガイドブックへの記事掲載とノベルティグッズの作製を通じて、観光情報を広く周知しました。

また、広島広域都市圏観光振興部会の取組として、圏域市町を周遊するツアーを催行したほか、ユニークベニュー等利用促進協議会では、「西条酒蔵通り」（東広島市西条本町）で開催されたユニークベニューのモデル事業を視察しました。

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分		事業費	財 源 内 訳		成果指標など
			特 定 財 源	一般財源	
観光推進事業補助	観光商品の開発支援など	41,301	その他 6,110	35,191	観光団体（5団体） 32,459千円 地域団体（4団体） 2,732千円 全市的イベント 6,110千円
	神楽魅力アップ事業（再掲）	302	その他 302		三次市観光振興神楽協議会への補助
三次版無料 Wi-Fi 整備促進事業		1,620		1,620	整備台数 27台
広島広域都市圏協議会の取組		680		680	広島・宮島・岩国地方観光連絡協議会への負担金
計		43,903	6,412	37,491	

ウ 観光推進の組織づくり・情報発信機能の強化

施策の概要

地域が一体となって、既存資源を最大限に活用し、質の高い観光サービスを提供することにより、本市の観光が「稼ぐ力の創出」につながるよう、三次市観光戦略に基づき、観光にかかる諸施策を進めました。

広島市内を中心とした県内をメインにして、中国地方の各エリアに広告、テレビ番組などによる観光情報の発信、SNS を活用した有料広告や本市の魅力を観光客が発信することを促すハッシュタグキャンペーンなどの観光プロモーション事業を実施しました。

また、三次市観光戦略が計画期間の最終年度を迎えることから、第2次観光戦略の策定を進めました。観光関連団体や商工団体のほかにも、交通事業者や製造業者なども策定検討委員会に委員として参画し、令和6年度から5年間の本市の観光の将来像を関係者で共有する計画を策定しました。

施策の成果

三次市観光戦略に基づき、本市全体の観光をけん引する組織であるみよしDMOは、観光関連事業者や市民と協力しながら活動しました。

みよしDMOがKPIに定めるもののうち、最も重視する総観光消費額は、令和5年の目標値65億円を大きく超え、実績値70.8億円となりました。また、観光客一人当たりの観光消費額が年々上昇していることは、近年取り組んできた観光施策の成果が顕在化していると言えます。

事務事業の実施状況

■ 観光戦略推進事業（産業振興部）

みよしDMOへ委託し、従来の新聞・雑誌広告などの掲載やテレビ番組の放映、観光ポスターの作成配付のほかに、InstagramやFacebookを活用した有料広告の掲載やハッシュタグキャンペーンなどのSNSを活用した事業を行うことで、本市の魅力を発信しました。

情報発信のほかに、プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦やマツダスタジアムでの三次デーの会場において、観光案内所を開設し、観光おもてなし拠点の運営を行いました。



観光ポスター（5種）

■ 観光交流推進事業（産業振興部）

三次駅観光案内所の運営、パンフレット等の情報提供、情報更新とFacebookなどを活用した情報発信などをみよしDMOへ委託しました。

■ 観光戦略推進事業補助金（産業振興部）

観光のマーケティングとプロモーションを行うみよしDMOの活動に対し、補助を行いました。

■ （新）第2次三次市観光戦略策定事業（産業振興部）

観光を取り巻く環境の変化やポストコロナ社会への柔軟かつ早期な対応ができるよう、第2次三次市観光戦略を策定し、本市の観光がめざすべき方向性を明らかにしました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
観光戦略推進事業	19,900		19,900	広告の掲出 ・テレビ放映 8回 ・新聞紙面広告 1回 ・雑誌広告掲載 2回 ・SNS 広告掲載 3ヶ月間 ハッシュタグキャンペーン ・総投稿件数 581件 観光ポスター制作 ・そろそろ恋しい三次 5種 営業活動業務 ・旅行会社との会議 10回 ・台湾での商談会参加 1回 ・旅行会社への営業支援 3回 対面による観光客実態調査 ・サンプル数 573件 ・出発地と交通手段等の把握
観光交流推進事業	7,334	その他 7,333	1	情報発信 ・観光案内所の開設 310日 ・ガイドブックの送付 122件 ・問合への対応 5,207件 ・観光公式サイト更新 107回 ・桜紅葉情報への対応 163回
観光戦略推進事業補助金	80,000		80,000	みよしDMOへの補助
第2次三次市観光戦略策定事業	3,658		3,658	策定検討委員会 4回 令和6年3月策定 計画期間 令和6年度～令和10年度
計	110,892	7,333	103,559	

(5) 定住・交流 ～ちょうどいい田舎まち～

ア 定住のまちづくり

イ 交流の推進

施策の概要

平成30年度から継続して実施している一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所による「地域の未来づくりアドバイス事業（地域人材育成・派遣事業）」に伴う地域分析・調査報告書において、引き続き、若い女性の転出超過による影響が喫緊の課題とされています。このことから、引き続き「三次市移住・定住ポータルサイト」において、若い世代を対象に、魅力あるライフスタイルや空き家情報バンク物件の情報発信を行い、SNS（Instagram や Facebook など）を活用して本市でのリアルタイムな日常の写真や季節の風景を紹介するなど、三次暮らしを発信しました。

さらに、令和5年5月から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行したことにより、対面での相談会が復活し、ふるさと回帰支援センターや広島県主催の移住フェアへ積極的に参加しました。また、令和4年度の継続事業として、広島県の「ひろしま里山ウェーブ」事業を活用し、市外から実際に本市にお越しただいて、地域資源の活用策や支援方法についての提案をいただくなど、ふるさとサポーター制度の見直しによる“ツナガリ人口”の拡大を見据えた取組を展開しました。この取組の一環として、東京都内の「SHIBUYA QWS（渋谷キューズ）」において、ふるさとサポーター同士の意見交換会を開催し、市外から地域を応援するつながりづくりの提案をいただきました。

また、移住コーディネーターと集落支援員との連携により、移住希望者への相談に対して丁寧な対応を行い、移住希望者の相談件数と空き家バンク登録の物件数も増加しました。さらに、東京圏からの移住・定住促進及び市内の中小企業等における人手不足の解消を目的として、移住等に関する要件を満たした上で、東京23区等から三次市に移住し、市内の企業に就業された方などを対象に、移住支援金事業の運用を始めました。

施策の成果

広島県交流・定住促進協議会などが主催する大都市圏での定住フェアに令和5年度も積極的に参加し、Uターンを検討されている方や農ある暮らしに興味がある方、本市で事業を実施したい方などの相談を受け、三次暮らしを知っていただき、アピールすることができました。アフターコロナでの生活変容の状態が見られる中で、移住相談の件数も増加傾向にあり、本市の魅力を感じてもらえる内容を発信して、移住・定住を進めました。

また、移住コーディネーターの継続した活動と集落支援員との連携により、移住相談希望者からの相談に対して丁寧に対応することができ、13件（移住者24人）の空き家情報バンクの成約につながりました。

さらに、ふるさとサポーターのリニューアルに当たり、11月に東京都内の「SHIBUYA QWS（渋谷キューズ）」に首都圏などから三次につながりやゆかりのある方々やふるさとサポーターのみなさんなど、関係者あわせて32人が集い、「Re:Start 三次 in 渋谷～新ふるさとサポーターキックオフイベント～」と題して意見交換会と交流会を開催しました。会場では、“ソト”から見た三次の良さや今後の三次でのまちづくりのアイデアをはじめ、“ツナガリ人口”の拡大に向けた制度運用について、さまざまなご提案をいただきました。

そして、地域おこし協力隊については、新たに3人の地域おこし協力隊を委嘱しました。令和5年度に任期を終えた地域おこし協力隊2人のうち1人は、任期終了後も新規就農者として、本市に引き

続き定住し、活躍しています。



ふるさとサポーター制度の見直しに伴う現地視察



東京都内でのふるさとサポーター意見交換会&交流会
(SHIBUYA QWS (渋谷キューズ))

事務事業の実施状況

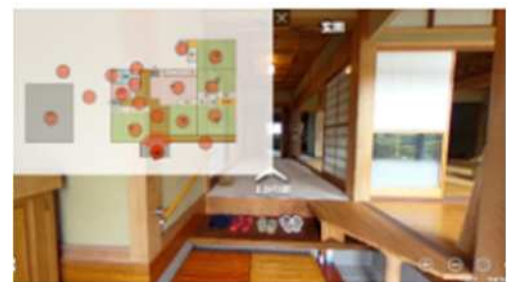
■ 空き家情報バンク制度（地域共創部）

登録いただいた市内の空き家は、移住を考えている方の居住先として、物件情報をポータルサイト内で紹介しています。令和3年度から移住コーディネーターを配置し、さらに電子申請システムを導入したことで、これまでよりも丁寧な物件案内や、移住相談を受けることができ、空き家を探している方から646件の相談がありました。集落支援員とも連携しながら令和4年度より19件多い82件の現地案内を行った結果、13件の成約、24人の移住につながりました。

空き家紹介ページには、登録されている物件の地域の地図や、一部の物件はインターネット上で家の間取りや様子が分かりやすく閲覧できるように360°ビューイングシステムを導入しています。360°ビューイングシステムを用いた物件の掲載件数も増え、どのような地形や物件かなど、利用者にとってより便利に分かりやすい情報発信に努めました。



電子申請システムの運用



360°ビューイングシステムを運用した空き家物件

■ 空き家バンク改修補助金（地域共創部）

空き家情報バンク制度を通して物件を購入し、定住のために必要な改修を行う場合、改修費用の一部を補助する事業を行い、令和5年度は8件の利用があり、21人が移住されました。

■ Uターン者実家等改修補助金（地域共創部）

Uターン者が定住をするために実家などを改修する場合、改修費用の一部を補助するもので、令和5年度は14件の交付を行い、28人が移住されました。

■ 移住者住宅取得奨励金（地域共創部）

市外に2年以上居住している移住希望者や、転入して3年以内の移住者が市内に住宅を取得した場合に奨励金を交付する事業で、令和5年度は21件の交付を行い、45人が移住されました。

■ 宅地購入・新築奨励金交付事業（地域共創部）

UIターン者が市内に住宅を新築し、他の事業の要件に該当しない場合に家屋や土地の固定資産税相当額を助成する奨励金交付事業を行い、11件交付しました。（うち新規申請件数2件）

■ （新）移住支援金事業（地域共創部）

東京圏からの移住・定住促進及び市内の中小企業等における人手不足の解消を目的に、東京23区の在住者又は通勤者が、広島県が運用するマッチングサイト「ひろしまワークス」に移住支援金の対象企業として掲載された求人などの移住等に関する要件を満たした上で、三次市に移住し、就業、テレワーク、又は起業する人や世帯を対象に、移住支援金を交付する事業の運用を開始しました。運行開始の1年目ということもあり、ホームページ掲載やチラシを作成し、周知を図りました。相談もありましたが、交付申請には至りませんでした。

■ 定住相談事業（地域共創部）

ふるさと回帰支援センター（東京都・大阪府）などでの移住定住フェアに積極的に参加し、地方での暮らしに興味を持つ方を対象に、三次暮らしを紹介し、三次に関心を持っていただきました。三次市に移住し、活躍する方の紹介や三次での暮らしについて、移住コーディネーターと担当職員が相談ブースで相談を受けました。広島県などが主催する定住フェアなど、合計71人の移住希望者の皆さんが本市ブースにお越しになり、地方移住における暮らしの具体的なイメージなどをお話することで、実際に三次に行ってみたいというお声をいただきました。



移住コーディネーターと集落支援員による
空き家情報バンク登録物件の現地案内



移住定住フェアでの移住相談
（ふるさと回帰支援センター）

■ 定住対策情報発信（地域共創部）

令和2年度に開設した三次の暮らしやすさを発信するWEBサイト三次市移住・定住ポータルサイト「みよしSTYLE ツナグ」では、実際にIターンやUターンをされて“みよし暮らし”を満喫している移住者の方や地域おこし協力隊員の活動の紹介、移住定住フェアの開催情報、空き家物件情報について情報発信を行いました。また、InstagramやFacebookも活用し、三次での暮らし方をイメージしていただけるよう、リアルタイムで日常の写真や季節の風景などを紹介しました。



■ 地域おこし協力隊事業（地域共創部）

令和4年度で活動を終えた隊員のうち、2人の隊員の起業に対し、三次市地域おこし協力隊起業支援補助金を交付し、新規就農者としての起業を支援しました。

令和5年度は、5人の地域おこし協力隊員が新規就農などをめざして活動を行いました。そのうち令和5年度末で任期を終えた2人のうち1人は、本市へ定住し、新規就農者として本市の振興作物であるぶどうの栽培に携わっています。



地域おこし協力隊（農業支援）の活動風景

■ ふるさと納税（経営企画部）

本市製品のさらなる魅力発信のため、寄附受付窓口の充実や効果的な情報発信に取り組み、8,268万5,000円（5,223件）の貴重な寄附をいただきました。

令和5年度は、女子野球ワールドカップ情報発信支援事業、地域子育て支援センター運営事業、農畜物の生産力強化事業などにふるさと納税を活用しました。



ふるさと納税寄附金を活用
「女子野球ワールドカップ情報発信支援事業」

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
空き家情報バンク制度	132		132	新規登録件数 38 件 現地案内件数 82 件 移住者数 24 人 13 世帯 (市内間契約 8 件)
空き家バンク改修補助金	5,700		5,700	8 世帯 21 人 (うち小学生以下 6 人)
Uターン者実家等改修補助金	4,702		4,702	14 世帯 28 人 (うち小学生以下 2 人)
移住者住宅取得奨励金	3,150		3,150	21 世帯 45 人 (うち小学生以下 12 人)
宅地購入・新築奨励金 交付事業	842		842	交付件数 11 件 (新規申請件数 2 件)
定住相談事業 (移住コーディネーター 制度)	3,316		3,316	定住イベント 71 人 (参加回数 6 回)
定住対策情報発信	499		499	ポータルサイト運用保守 業務
地域おこし協力隊事業	18,729		18,729	隊員数 (R5) 5 人
ふるさと納税(発送・手数料等の経費)	41,052		41,052	寄附件数 5,223 件 寄附金額 82,685,000 円
計	78,122		78,122	